

第8回美里町立小学校適正規模等検討委員会概要録

招集期日	令和3年6月18日(金)
招集場所	美里町役場 防災倉庫会議室
開会閉会	開会 午後2時00分 閉会 午後4時20分
出席委員	委員長 松本 浩 副委員長 茂木 精一
	委員 茂木 智孝 委員 山崎 香苗
	委員 志村 弘人 委員 鈴木 薫
	委員 金子 延行 委員 丸山 耕一
	委員 清水 奈津子 委員 小林 健治
	委員 堀内 晴美
欠席委員	委員 中沢 一剛
説明のために出席した者	教育長 南 幹生 指導主事 下田 裕美
	指導主事 神部 太輔 係長 中山 裕紀
傍聴人	3人

次第	顛末	
1 開会	事務局	
2 あいさつ	教育長	<p>コロナ禍ではあるが、感染防止対策を行った上で検討委員会を開催する。</p> <p>今回は、本検討委員会が町教育委員会に答申する美里町立小学校適正規模・適正配置の答申内容の検討が主なものになる。</p> <p>ぜひ検討委員の皆様においては、将来の美里町を背負って立つ子供達にとって望ましい学校教育環境は何か、その望ましい学校教育環境の中でどのような教育を進めたらよいか等の視点で検討協議を進めていただければと思う。</p>
3 前回会議録の署名について	事務局	第7回会議の概要録については、委員から署名をいただき、承認済みなので報告する。
4 議事	事務局	議事の進行については、委員長にお願いします。
	委員長	これより議事の方に入るが、年度が替わり、前回の第7回の検討委員会では、4名の新しい委員が委

囑をされた。

引き続きの委員と新しい委員でできるだけ歩調を合わせようという事で、前回の第7回は長時間にわたってこれまでの会議の経緯を理解していただくという事を中心に進めた。4名の新委員についてはかなりの負担であったんでなかろうかと推察をするところである。

今回は事務局と相談をし、できるだけ視点を絞った現状の把握、そして視点を絞った今後の対策を理解することで、答申の草案に向けて行ければいいという事で、事務局にはかなりのお骨折りをいただき、皆さんの手元にあるような、答申を出すための絞り込み資料を作ってもらった。

今日はこの絞り込み資料と、その根拠になる資料の説明を受けながら、我々で共通理解を図り、10年後20年後の美里町立小学校の一番いい在り方を検討していければいいと思うので、協力をお願いしたい。

(1)答申(案)について、事務局の説明を求める。

事務局

昨年の7月にこの委員会が発足し、それから本日の会議を含めて8回、1年間にわたり皆様に適正規模・適正配置について検討していただいた。前回の会議で振り返りをしたが、その間委員から様々な意見をいただき、委員会としての基本的な方向性というものはある程度定まってきたと考えている。

従って事務局としては、これまでの委員会の検討を踏まえ、また前回の会議で委員長から提示された「検討の視点」を踏まえ、答申の案について、前段部分となるところを今回作成した。そしてそれに付随し、資料となるべきものとして、今までの配布料と重複する資料はあるが、資料1から資料10の補足資料を付けた。

本日は答申の草案といえるべき内容を提示しているのので、精査・検討をしていただき、またここから答申の核となる部分を作り上げていくが、皆様で議論いただき、より良い答申案が出来ればと思って

いるので、協力をお願いしたい。

答申（案）と書かれた前段部分まで示してある資料をご覧いただき、説明をさせていただければと思う。

まず、「はじめに」というところで、義務教育を巡る現状という事で、内容を記載した。

義務教育における学校とは、子どもたちに「生きる力」を身に付けさせる場である。その「生きる力」とは、「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」であり、学校には一人ひとりに応じてその資質や能力を伸ばしていくことが求められる。また、子どもたちは、学校における集団活動を通して、協力や助け合い、協働などの社会性や郷土愛も身に付けていく。このように、学校は子どもたちの成長にとって重要な役割を持っている。というところから始まり、美里町においても、人口減少や少子高齢化が進んでいて、現実的に児童数の減少が続いているところである。集団の規模がどんどん小さくなっていき、学級数も減少し、教職員の数も減っていく。そういった中で、子供達に与えられる教育のよさが生かされない心配が出てきた、というところである。

この検討委員会については、美里町の10年後、20年後を見据えて検討を進めてきたという事を記載している。

続いて、次の柱として「美里町立小学校の現状」について記載した。こちらは前回の会議で板書した「現状の4本の柱」に基づいて構成をしている。

まず、「児童数・学級数について」は最新のデータにアップデートしているところだが、令和3年5月1日現在の児童数・学級数については、松久小は178人6学級、東児玉小が236人8学級、大沢小が82人6学級ということで、松久小と大沢小については学年に1クラスで、クラス替えができない状況であるという説明をしている。また、「就学前の幼児を含めて」という部分については、資料4に入学者数の推移等を示しており、さらにその次の資料5

が向こう5年程度の学年別人数の見込みを示している。それに基づき学級数を計算すると、18学級から14学級でこの5年間推移するという中で、その範囲が文部科学省が示す1学校の標準学級、これが3校の人数を合わせた場合に相応するという記載をした。

規定された学習内容を達成するために、人数が少ないと十分な教育効果を上げられない心配がある中で、例えば、大沢小では学年の枠にこだわらずに2学年で活動したり、松久小と大沢小で連携して林間学校に取り組んだりという事で、そういった問題について解決策を示しているというところである。

資料4のグラフに示したところであるが、人口動態推計によると、令和15年頃、大沢小では複式学級の編制が想定される、また、東児玉小も児童数が減少して、学年1学級が想定される、そういったことをグラフに基づいて記入している。

次の2ページ、2つ目の柱「学校施設について」という事で、学校施設の現状を示した。本町の3つの小学校の教室棟については、昭和40年代から50年代までの間に新築されており、今年度当初では松久小が築49年、東児玉小が築44年、大沢小が築39年という事で、細かい資料については**資料7**に示しているものとなる。

本町の小学校については、耐震工事等がなされているので、当面の十分な安全性は担保されているという部分もあるが、実際一番古い松久小を見ると、視察をした時の感想の中から「見た目の古さを感じる」という意見があったので、そういった部分も記載している。

続いて、「学校配置について」だが、本町の3つの小学校の位置というのは、児童の通学距離からみるとおおむね「児童が徒歩でおおむね4km以内」に入る位置にはなっている。しかし、学区によっては、通学路が山や丘を迂回しなければならない場所もある。また児童数の減少によって通学班の編成に毎

	<p>年悩んでいるという話もあった。また交通安全や不審者から児童を守るために、見守りボランティアの方に多大なるご協力をいただいているという部分が課題であることを記載した。</p> <p>続いて「管理・運営費について」だが、学校については必要経費があり、施設等の維持管理費もかかる。また学習支援員等で会計年度任用職員の人件費等も必要になる。そういったものが1校当たり年間およそ4000万円と記載した。ばらつきがあるところではあるが、資料については資料6が該当するものになる。おおむねの運営経費という事で、4000万円前後、3000万から4000万くらいの諸経費がかかっている。この金額はある程度学校によって差はあるが、大規模であったり小規模であるという中では大きな差は生じていない。小規模だから少ないかという、それほど少なくならないのが現状である。</p>
<p>委員長</p>	<p>今、事務局からこれまでの話し合いを整理した形で、データ等から見る客観的なものを皆さんに共通理解をしていただきたく、説明をしてもらった。</p> <p>ここままで、質問あるいは「ここは違うんじゃないか」というような事があつたら、意見をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>2(1)の児童数・学級数のところは、例えば松久小は178人で6学級だが、実際は定数にのっとって言うと8学級で特別支援学級が2学級あるという現状があり、各学校も2学級あるいは3学級の特別支援学級があるので、やはりその辺のところは正しく報告をした方が、後ろにカッコ書きで例えば(うち2学級は特別支援学級)というような形にした方が分かりやすいし、8学級というと「なんで8学級なのにクラス替えができないのか。学年1クラスではないのか」というふうな混乱を招くので、カッコ書きでそのように正しく付け加えて数値は表した方がいいと思った。</p>

委員長	委員のご指摘は、学校は通常学級と特別支援学級の2つで成り立っていると。通常学級だけを書くのではなくて、特別支援学級も合わせた形で書いた方が現状に即しているのではないかなという事である。その方が正確ということか。
委員	はい。
委員長	そういう形で直していくという事でよろしいか。ではそういう形に持っていきたいと思う。
委員	耐震工事の件だが、資料を見ると、大沢小だけがまだ耐震工事を済ませてないみたいだが、これはあくまでも努力目標で何年までにやらなければいけないとかそういう決まりはないのか。
事務局	大沢小学校については新耐震基準で建てられている。だから、当面耐震工事の必要はないという事で工事を行っていない。それ以外の2校については、旧耐震基準で建てられた建物になるので、現在の耐震基準を満たすために、耐震工事を行った。
委員長	大沢小学校は新耐震基準にのっとっているので、まだやってないという事で、松久小学校と東児玉小学校については、旧耐震基準なので改修が必要だったという事になる。 これもどこか資料の表の中に入れておいた方がいいか。
委員	この資料7だけを見ると、そこまで深く読めない。
委員長	年数だけしか書かれていない。
委員	やってないみたいな感じに読めるので。一応建てた年数からいってその年度がすでに新しい耐震基準で施工されているという事なのだろうが、そこまでちょっと読めない。
委員長	全然それは読めないなので、今度はこの資料の表の方に新基準等を明記していただければと思う。
事務局	了承。

<p>委員長</p>	<p>できるだけ事務局の方でデータに基づいて客観的に書いてくれたわけだが、それでも「ここは文章が2通りに読み取れちゃうんじゃないか」とか、あるいは「こちらの意見に強い方に傾いてる書き方じゃないか」とか、いろいろあると思うが委員の皆さんから見ているかがか。</p> <p>現状を見て、「ここはやっぱりおかしい」というところがあったら、後ほどまた指摘いただければいいと思う。</p> <p>それでは、現状を踏まえてもう一度、視点の方から整理をしていきたいと思うので、事務局から説明願いたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>続いて、答申案の3番「適正規模・適正配置等を考える視点について」については、前回板書した、委員長から「検討の視点」として5つほど挙げていただいたもので、そちらに則り記載をしている部分になる。</p> <p>(1)は適正規模の視点という事で、小中学校においては「学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする」これが学校教育法施行規則で定められているものだが、この規定から判断すると、本町の3つの小学校とも、現状では標準学級を下回っている状況である。現在は、学校・職員・家庭や地域の方々の努力と工夫で教育を維持しているが、これからまたさらに人数等が減少していった場合に、どこまで対応できるかというところが心配として上がっていた。特に今後を考えると、令和15年前後に、このまま人数が減っていくと大沢小では複式学級の編制が想定されてくるところである。児童数・学級数の減少については、課題が生じる可能性があり、何らかの対応が必要だという事が考えられる部分である。</p>
<p>委員長</p>	<p>今、適正規模の視点からという事でおさらいにはなるが、現状では3つの小学校は標準を下回っている。下回っているけれども、学校・家庭・地域・教</p>

育委員会・町当局の支えのもとに何とかやっている。ただ、令和15年を過ぎたあたりで2学年を合わせて16人を下回ってしまう。そうすると、このあたりから大沢小は2学年を合わせた複式学級という形になる。皆さんもこの前の説明で聞いたと思うが、神川町あるいは皆野町では、町当局がお金を出してさらに先生を加えることで、2学年を一緒にしないで、特に国語・算数・理科・社会は別々になるようにして、学年ごとの授業が確保できるようにしているという理解をいただいたところである。

しかしながら、長く続くと2年と3年、3年と4年、それぞれの学年がみんなどこも複式学級になってしまう恐れがあるという事が、この資料4等で見取れる。

果たしてそのところで、まず子どもたち、保護者の皆さん、学校等は大丈夫なのかという事で、新委員さんはなかなか学校現場の声を聴けないという部分があると思うので、まだ複式になっていないが、複式になったら校長としてどうかというところを、考えなり意見を聞かせてもらえれば、より真実味が委員さんに伝わるのではないかと思う。

もし自分の学校が複式になったらという事で、校長としてどう思うか、客観的に言っていただきたい。

委員

複式をやっている学校の校長とかからもいろいろ話を聞くことがあるが、結局職員数も子どもが減ると減ってしまうが、学校の中でやらなきゃいけない仕事量が変わらない。例えば主任の数が変わらないので一人で複数を担当しなきゃいけないだとかという、先生方に対するそういう部分も出てくると思う。

少ない人数でよりしっかりした教育ができる面も出てくるかもしれないが、人数がいないと経験できない、例えば体育であるとか、それから音楽の合奏であるとか、そういうものについては限られた人数で限られた事しかできないので、その辺のところ

	<p>が工夫が必要だったり、小学校で体験させることができないまま、中学校に上げていかななくてはいけないというようなところが出てきて、複式の学校が同じ中学校区にないとする、その辺のところは中学校に上がった時に心配だなという気持ちになると思う。</p>
委員長	<p>人口動態推計を見ると、一番大沢小がそういう状況に近づいているという事だが、現状を踏まえながら、そういうふうになってしまったらという事で校長としての気持ちを聞かせていただきたいと思う。</p>
委員	<p>児童数7人が続くということになると、7人と7人の違った学年が同じ教室に入って、県から配当された教職員の場合はその14人の2学年の授業を担当するという事になると想定される。そうなった場合、校長としては実際にその授業が進むのか、上の学年・下の学年同時に1時間で教科を進めるわけなので、相当な教職員の技能・教える技術がないといけないので、とても心配になる。</p>
委員長	<p>学校はとにかくきちっとした学力をつけて子どもたちを家庭に帰すというのが使命なので、やっぱりその学力が付けられないとなると、校長とすると一番きつい部分がある。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>複式になることについては、このように校長等は危惧をしているという事をご理解いただければと思う。</p> <p>2番目の「安心安全な学校施設の視点」について、説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>「安心安全な学校施設の視点」として、まず学校施設において、子どもたちがよりよい教育活動を行うためには、その安全性や機能性の確保は不可欠な問題である。</p> <p>先程も説明したが、3小学校の校舎は建築から40年以上経過しており、当然ながら経年劣化や、改修を必要とする箇所がどんどん出てきているとこ</p>

	<p>ろである。長寿命化耐震工事を行っているところではあるが、老朽化は深刻な状況だと思われる。学校施設の修繕費用については、補足として資料9 修繕費決算額一覧で示した。</p> <p>令和2年度の最新決算を加えたところで、若干減っている部分はあるが、長期的な目で見ると、修繕費の決算額は増加傾向にある。児童数が減少していたとしても、施設は老朽化していくものなので、修繕費は増加傾向という事で考えていくと、今後また改修だけでは済まないことも想定されるので、新築を含めて抜本的な検討が必要であると考えます。</p>
委員長	<p>2番のところで皆さんの頭を整理したいと思う。</p> <p>2番の「学校の施設の安心安全」だが、3小学校どれも40数年に近い。</p>
教育長	<p>現時点では大沢小学校は39年だが、それも踏まえて「3校で40年以上」というような表記になっているのはご理解いただければと思う。</p> <p>2校が例えば44年、49年で大沢小学校が39年だが、3校という表現からすれば、この答申が出るのがおそらく今年だと思うので、来年にはもう40年以上になってしまうということで、この辺の含みを持ってご理解いただきたい。ただ違う良い書き方があれば、それはまた別だが。</p>
委員長	<p>学校というのは教室棟だけじゃない。体育館もあれば、給食室も必要だし、そういったものも併せて考えていかなければならない。</p> <p>資料7・資料8、教室棟だけでなく体育館、給食室もちょっと事務局に説明していただきたい。</p>
事務局	<p>教室棟については先ほど申し上げた通りの年数であり、体育館については松久小が44年、東児玉小が47年、大沢小が49年。これはかなりの年数経過しているが、いずれにおいても耐震工事は実施しているところである。</p> <p>給食室については、耐震工事等はしていないが、経年数は松久小が40年、東児玉小が42年、大沢</p>

	<p>小が39年という事で、40年近くという表現になるのかと思うが、劣化している模様である。</p>
委員長	<p>美里の3三つの小学校の場合、教室棟だけでなく体育館、給食室、こちらも3校ともかなりの年数が経ってきてるな、というのが現状だと思う。</p> <p>実は私も、耐震の基準ってどれくらいなのかと、例えば長寿命化計画というのをやった場合に、どれくらいまでこの長寿命化計画で伸びるのだろうと調べた。一説によると40年というのがまず1つの目安だと言われているが、長寿命化計画で改修工事を行った場合に70から80年って言われている。これも70から80年、10年も間があるわけなので、かなりいい加減なものかもしれないが。工業規格、国土交通省等ではこのような感じの事を言っている。</p> <p>既に前の現状のところでも見ていただいたが、大規模改修をして中もかなりきれいにしたが、松久小だったか、「かなり直したけど古いところが目立っていた」というような委員の指摘もあり、「難しいものなんだな」というのを感じたわけである。</p> <p>ここのところで「新築を含めて抜本的な検討が必要である」という部分があるが、例えば今後10年間でいろんなところを改修していく費用と、新築という費用とか、そういうものを説明していただきたい。新委員には説明していないと思うので。</p>
事務局	<p>資料8の部分になる。第5回の会議で説明したところだが、長寿命化したコストの見通しとして、公共施設個別施設計画の中で、左下にありますグラフのように小・中学校を含めた学校施設全体で、35年のコストがどれくらいかかるかというのを計算し、この期間トータルで60億4千万という計算が出ている。その中から小学校部分だけをピックアップし、上に表として抜き出したのが、向こう35年の改修コスト等の見通しという表になる。これは大規模な改修等も全て含んだ形で、どれくらいの見通しかという事で、35年で約40億円弱という小学</p>

	<p>校の改修の見通しが出ているところである。</p> <p>それと比較して、この時学校新設の整備費試算をしたが、学校新設については、今のところ何も決まっていない、やるかやらないかも決まっていないし規模も決まっていないという状況であるので、仮の算定として、面積は仮に現在の東児玉小学校の主要施設の面積を合計し、その面積に総務省が出していた公共施設の更新費用試算ソフトの単価、これが平米あたり33万なので、そちらを単純にかけたところ13億6,653万となる。これにはいろいろな付帯設備とかも当然かかってくるし、この計算だとプール等除かれているので、そういったものも含むと、ここを出した数字というのは本当の最低限の数値という事で、実際作るとなると上乘せがされるという想定があるが、改修と新設の費用という事で比較をした。</p>
<p>委員長</p>	<p>令和35年度までで美里町の3小学校の教育棟、体育館、それに給食室を改修、更新していくのに約40億。新築の場合は13億6千万。土地代とかが含まれてないと思うので、その辺はまた数字が大きくなるだろうと思うが、こういうのもやっぱりきちっと委員の皆さんには理解をしていただかないといけないという部分である。そういう事を考えると、そこの部分の「新築を含めて抜本的な検討が必要である」という文言もあっても大丈夫なのかなと思う。皆さんから「こういう新築っていう文言は入れない方がいい」という意見はあるか。</p> <p>データの的には、改修、改修でやっていくと40億。でも新築をしたら14億とか、付帯設備を入れても20億とか、半分くらいで何とかなるかなという事か。ここもまた何かあったら、後で検討いただくという事で。</p> <p>(3)「安心安全な通学と適正配置の視点」について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず前提として、小学校の通学条件というのが「通学距離が、小学校にあってはおおむね4キロメ</p>

ートル以内」、これは義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令で規定されているものであるが、これについては本町においては概ね基準はクリアしていると思われる。

今までの委員会の中で通学路視察をして、特に大沢小学校の通学路を重点的に視察をした部分がある。そういった中で意見として挙げたのは、通学路や通学班、また安全・安心の確保という部分を考え「スクールバスを出したらどうだ」という意見だったと記憶しているところだが、スクールバスは安全の確保という面で挙げられる部分である。

しかしながら、現在の3つの小学校でそれぞれがスクールバスを活用するという点については、難しい部分があると想定した。国は、「スクールバスを利用して通学する場合はおおむね1時間」という基準を示しているところだが、もしスクールバスを活用していくのであれば、3つの小学校を1つの小学校にまとめていく、そういった視点も検討されていくという書き方をしたところである。

委員長

現状のところでもあったが、まず美里町の3小学校は非常に良いバランスで配置されているので、おおむね4 km以内にはピッタリ合う。ただ、子どもの数が減ってきたので、通学班編成が難しいとか、あるいは最近の不審者が多いという事で、その安心・安全を確保するために、家族や地域の人が出て対応するという、新たな負担が出てきてしまったというのも事実かと思う。

とは言え、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、そういった方々がずっと3小学校に登下校していたという事を考えると、今更スクールバスをとというのはどうなのかな、っていうのが私の個人的な意見である。

やっぱり何かあるのであれば、スクールバスを使うのが良いと思うが、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんが通ってきた時代を考えると、おじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さん

	<p>が通ったのだったら、子どもたちも歩いてもいいかなっていう感じもする。もし統廃合で距離が増えたとかそういうのであれば、スクールバスも必要なのかなという思いでいるが、通われた区長さん方はどう思われるか。</p>
委員	<p>統廃合となれば、必然としてスクールバスとか何かを利用するような形になると思うが、現状であれば、私のところは広木なので、松久小学校まで3 km以上の距離があつて、昔であれば農家の人でも田んぼにいっぱい居たり、通学している中でも一人で人が途切れるような事はなかったような。それでましてや子どもの数もかなりいたから、子どもたち同士でもかなり余裕をもって帰れたけれど、今は本当に人数少なくなったので、1年生や2年生が、どうしたって送迎しなければ絶対無理なような状況になっているから、今の状態であれば、やっぱりいつにか子どもが少なくなって学校が統廃合されれば、スクールバスというのが完全に必要になるのかなと思う。</p>
委員長	<p>スクールバスの経費については、実は1回から5回の会議の中でも出てきた。どれくらいかかるのかというのを事務局から説明願いたい。</p>
事務局	<p>今回の資料としては付けていなかったものになるが、第6回の会議の時に添付した資料1-2で、バス運行費用の想定をした。仮に例えば美里の中心地に1つの学校を置いて、そこから3 kmを外れるような人をメインターゲットとしてバスを運行した場合には、こういった費用想定になるかという事を記載した。</p>
委員長	<p>新委員にも会議録と併せて旧資料が配られていると思う。第6回の会議の資料1-2。</p>
事務局	<p>「どういったルートを取るか」とか「どこに学校を置くか」というのは何も決まっていないが、費用想定するためには、ある程度固めなくてはいけない部分があるので、前提条件としては、まず「中学校</p>

	<p>付近の町の中央地に学校が設置された」場合。いろいろな想定をするという意味で、東児玉については仮で「東児玉小学校に遠くの子どもが集まって、そこを大型バスで登校時2便、下校時4便のピストン」という場合の参考見積が1日当たり10万7千円、年間204日として、2,182万8千円という想定をしたところである。</p> <p>松久・大沢地区については、かなり集落が点在している、また大沢地区については特に中心地から離れる部分が多いという中で、ここもいろいろな想定を出すという意味で、「中型バスで集落を回っていきながら2台で登校1便、下校2便」という想定をした。これは大沢地区だけでなく、例えば先ほど委員からも指摘があった広木の粉木地区は、遠い場所になると思うので、そういった所をカバーするという前提で計算すると、1日18万6千円、204日想定で3,794万4千円で、合計5,977万2千円という想定をしたところである。</p> <p>これは見積という事で、最大値で出していただいた部分になるかと思われる。実際はいろいろな費用等は変わってくると想定される。</p>
<p>委員長</p>	<p>1年で6千万という計算。1年で6千万、10年で6億、20年で12億、30年で18億という事で、そう考えるとなかなかお金がかかる。</p> <p>先程新しい校舎を建てれば半分くらいで済むと言ったが、この通学バスに費用がかかってしまう。こういうのもやっぱり皆さんに検討の材料として踏まえていただかなければならないと思う。</p> <p>PTAの方から意見はあるか。改めてこういう数字を見てどうか。</p>
<p>委員</p>	<p>数字で出されると「そうなのか」「そうなんだ」と思うが、大沢は今人数が少なく、やはり帰り道も人数が少ないので、危ないと思っている家は基本迎えに来ていることが多い。実際は、おじいちゃんやおばあちゃんや、早く仕事が終わったお母さんなどが門の外で待っている状況である。</p>

	<p>歩いて帰っている子が実際何人いるかという、本当に少ない。結局みんな車で帰ってしまうので、「うちの子が一人になっちゃうから」といって、早く仕事を上がって迎えに行く家も実際いる。</p> <p>スクールバスが出るのだったら、すごく助かると思う。大沢地区は今、学校から近いお家は歩いて子どもたちは帰っている。私の地区はちょっと離れているが、車で帰る家も実際はいる。うちは基本歩かせたいが、おばあちゃんが「ちょっと可哀想だから」「危ないから」って迎えに行ってしまうというのが実際あったりする。</p> <p>こうやって金額を聞いてしまうと、すごい金額だが、安全面からしても、スクールバスが出てくれるととっても助かると思う。</p>
委員長	<p>おじいちゃんおばあちゃんも、いつまでも車が乗れる若い年齢ではなくて、10年経てば免許証を返上して車には乗らないという時期も来るかもしれない。その辺のところも考慮すると、スクールバスは可能性としてあった方が良いという感じになる。</p> <p>今日の新聞だったか、おばあちゃんが中学生の子どもを乗せて中学校に送るときに事故に遭ってしまったなんていうもある。そういう痛ましい事故が起こってしまうと、非常に悲しいことにもなる。</p> <p>こういうスクールバスが出て、松久の地域も遠いところがあるが、そこがカバーできるかもしれないが、どうか。</p>
委員	<p>うちにちょうど1年生がいる。小学校の門のところまで私も出向くが、2週間くらい前に同じ1年生の女の子が一人で来て、「え？どこなの？」と言ったら「広木」だと。「一人で帰るの？」と言ったら「一人」だと。国道254号を渡って向こうなので、何度も聞き直したが、「うん。一人で帰るんだよ」と平気なので、「うーん。ちょっと待って。じゃあ一緒に行こう」と横断歩道を国道のところまで行って、その先は旗を持ってくれている方が「私がこの先は連れて行く」という事でバトンタッチしたのだが、「へ</p>

	<p>え、一人で帰るんだ」という、1年生の小っちゃい女の子だから、ちょっと心配に思った。そう考えると、危険性があると思う。</p> <p>親が出向く事ができなくて、誰がついていけるかという中で「一人で帰るんだ」と慣れてしまっているのかもしれないが、そういうのが先日あった。</p>
委員長	<p>今は、学校も学年下校とか、あるいは一斉下校とかがほとんど。松久小学校はほとんど学年下校、一斉下校っていう感じか。</p>
委員	<p>5時間目で終わる学年が集まって下校し、6時間目で終わった学年が集まって下校するような形。あと月に1回は、全学年が一斉下校の形だが、朝と違うのは、うちの学校の場合は学童に行く低学年の子が多いので、5時間目が終わって帰る場合は、先程の話じゃないが、朝はもっと数人仲間がいるんだけど、帰りになると学童に入っていない子一人になってしまうという事が出てきていると思う。</p>
委員長	<p>東児玉小学校もやっぱり学年下校、一斉下校で帰すと、最終的にはポツンポツンと一人になってしまうのか。</p>
委員	<p>最後まで複数でという子はいないので、先程の話じゃないが、途中まで迎えに来ているおじいちゃんおばあちゃんもいたり、体育広場の駐車場に下校時刻を待って車が来て、連れて帰るところも見受けられる。</p> <p>毎日ではできないが、職員が下校の様子を見に行ったりはしている。やはりスクールバスは必要なのかなと思う。</p>
委員長	<p>一番最終的には、子どもの数がばらけて少なくなってしまう状況にあると思うが、大沢の場合はどうか。</p>
委員	<p>大沢の下校も、委員からあったように、遠くのお子さんはどうしても最終的には一人になってしまう子もいて心配だということで、時間がある保護者、おじいちゃんおばあちゃんがいる方について</p>

	<p>は、安全を考えて迎えに来ている。</p> <p>あとは、東児玉小の校長からもあったように、ついていける時には安全確認の意味でも職員が出回ったりしているが、毎日ではできない。</p> <p>前にも申し上げたが、朝でも円良田からは毎朝送ってきてくれている。今二人で歩いて来ることはできないので、途中の公園で降ろして、そこから二人で歩いてきているという事で、それを毎日保護者の方がしてくれている状況である。</p>
委員長	<p>迎えとか送りとかバスの停車場というのを、学校や保護者、PTAと話し合って自由に決められるのか。</p>
事務局	<p>例えば視察に行ってきた春日部の江戸川小中学校は、自宅から300mの範囲でバス停を設定しているという話を聞いているので、これは話し合いになるが、ある程度はフレキシブルな形で設定することも可能かと思う。コストと安全性の兼ね合いで、どういった所に設定していくかということになる。</p> <p>もしバスを運行させるのであれば、慎重に学校やご家庭の方と話し合っていく必要があるかと思う。</p>
委員長	<p>バスの停留所というのは、今のように自宅から300mくらいのところに降ろしてもらえれば、子どもは走ってなんとか家までたどり着けるようなこともあるかもしれない。</p> <p>今、PTAの立場での委員、それから学校の校長の立場での委員からも意見をいただいたが、主任児童委員さん等の立場から意見をいただきたい。</p>
委員	<p>年間の金額を見ても確かに大きいなどは感じているのが、それよりも子どもたちの安心・安全、命の部分、お金に換えられない部分というのは非常に大きいかと思う。</p> <p>あとは利用の仕方、例えば登下校の時には「子どもたちで利用するバス」と、それ以外で「空になった時には町民も利用する」といったの考え方にすれば、この金額も少しは和らぐかと思った。</p>

委員長	<p>教育委員をやられた立場でご意見をいただけるとありがたい。</p>
委員	<p>スクールバスがあった方がありがたいというのと、家庭に子どもの送迎が結局は任されるというか、「家庭の責任」みたいな。</p> <p>おじいちゃんおばあちゃんがいたり、お母さんやお父さんがお家にいる家庭は良いですけれども、例えば核家族で他から「転居したい」としたときに、夫婦ともご両親とも働いている人は「家庭の責任でお子さんを送ってくださいね」という感じがこの地域の暗黙の了解となると、「じゃあ、ここには転居してこられないかな」というふうになってしまうのではないかと思います。</p> <p>なので、子どもがいるどんな人でもここに住めるというふうな感じでこの先を考えるとしたら、「迎えに行く人がいないとダメ」とか「お母さんが3時以降いないとダメ」というのは非常に他から来る人の選択肢の中から外れてしまうのではないかと。</p> <p>スクールバスがあるという事であれば、逆に「安心だから転居してこようか」と思う人も、もしかしたらいるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>(4)「学校が地域で果たしてきた役割の視点」について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>学校が地域社会で果たしてきた役割の視点は、非常に重要な部分だと思うが、学校は当然ながら子どもたちの教育施設である。それだけではなく、地域のコミュニティの核という性格を有することが非常に多いと思う。防災、保育、地域交流の場等、いろいろな性格を持っているのが学校というものだと考えられる。地域の未来の担い手である子どもたちを育む場であり、これは美里町全体のまちづくりの在り方と密接不可分であるという性格も当然ながら持っていると思う。</p> <p>この委員会では、そういった性格を十分に配慮し、教育の直接の受益者は児童であるが、児童の保</p>

	<p>護者や地域住民の方々の声を重視し、ここについては慎重に検討する必要があるという事で、記述をした。</p>
<p>委員長</p>	<p>我々は客観的なデータとかそういったものを見せてもらって、それで答申案を出していくが、地域住民の皆さんの学校なので、教育委員会なり町当局は、答申だけを鵜呑みにするのではなく、その後も地域の人たちの声を十分聴いてやってほしいという流れである。</p> <p>この流れとしては一応、全委員で最終的に話し合ったのは、答申を出す、それを教育委員会は受け取って、教育委員会としてアンケート等を取って、町としての考えをまとめていくという方向になるだろうという事であった。</p> <p>当然、アンケートを取るときは、我々の話し合った意見だとか考えの基になったデータを詳らかにして、答えていただくという事になるかと思う。</p> <p>ですから我々は、町の住民の方が見たときに、「委員の皆さんはよくここまで検討してくれたな」と言ってもらえるような、そういう抜け目のない話し合いをしていかないといけないという事で考えているところである。</p> <p>この部分はそういう我々の気持ちというようなものも入っているかもしれないが、大丈夫か。</p> <p>では(5)「効果的な教育実践を行う視点」について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>もう一つの柱である「効果的な教育実践を行う視点」。もちろん学校というのは教育の場であるので、それが最重要であるという事は当然のことかと思う。検討していく中で、将来の小学校というのはどのようにあるべきか。小学校の次は中学校が当然あるわけなので、中学校へのスムーズな移行という視点も必要だと考えられる。また、生きる力を効果的に身に付けさせるにはどうしたらよいか。そういった学校の仕組みも、検討の視点として入れる必要があると思う。</p>

	<p>私たち、特に事務局が行ってきたところではあるが、先進地である坂戸の城山学園や春日部市の江戸川小中学校、また逆の視点として複式学級の皆野町の三沢小学校、そういった所に事務局は視察に行ってきたが、そういった情報提供により、小中一貫校や義務教育学校、そういった新たな学校の仕組みというの、この委員会の中で勉強してきたところである。</p> <p>そういった新しい情報を本町の小学校に活かしていく必要があるのではないかと、という視点を持ち、このように記述した。</p>
<p>委員長</p>	<p>この部分は何となく統廃合ありきみたいな感じに読み取れる部分もあるが、実は学校の校長の立場あるいは教育委員会の立場からすると、いい先生を確保するのが子どもの教育をしっかりと行う上では一番大切だと。いい先生を確保するには何らかの方法を講じなければならないということで、小中一貫校あるいは義務教育学校という事が挙げられる。</p> <p>どこの教育委員会さんもいい先生を採りたくてしょうがない。教育事務所の方はそれぞれの教育委員会の教育レベルを一定に保つように割り振るが、それでも教育長は欲しくてしょうがないというのが本音である。</p> <p>でも、そんな中で小中一貫校だとか義務教育学校とかであれば、小学校と中学校の免許をもった先生が採れるとか、そうすると小学校の先生が中学校へ行って教えたり、中学校の先生が小学校へ行って教えたりすることができて、すごくバリエーションのある教育の仕方ができるようになるという、そういう事である。</p> <p>ですからこれは現状ではなかなかできないが、美里町教育委員会の方で小中一貫校とか義務教育学校というのを打ち出すことによって、県教委に対してアピールして、良い教員を採ってくる、そういう事は大いにいい事ではないかと、県に居た者の立場としてはそう思う。</p>

	<p>こういう風にアピールされると人を付けざるを得なくなるというのが、県教委の立場であり、「わざわざこういうふうな仕組みを作ったのに、そういう人材を置かないのは何たることだ」というふうになるので、仕組みを作ったら仕組みに合うような人材を送るとというのが県教育委員会としての使命なのかなと思う。この部分は教育委員会の目線で考えているところがあるかもしれない。</p> <p>副委員長、こんなに踏み込んでしまっているのかという部分もあるが、この辺はいかがか。「いい先生を採るために」とか、何か但し書きを書いた方がいいか。</p>
副委員長	<p>そうかもしれない。まさに委員長のおっしゃったように、統合を前提に進んでいるような視点だと思う。</p>
委員長	<p>だから「いい先生を確保するためには」というような前提があって、こういう事を書くのであればまだしも、何もないでこう書いてしまうとちょっとどうかかなという。</p>
副委員長	<p>確かに前段にあったような適正な規模、ベースになる人数・児童数からすれば、近未来的に理想的なのは人数だけ、規模だけで考えれば、一番理想的なのは統合である。</p> <p>だけどそれだけでは決められないファクターが多々ある。そこは異論がないという事だと思う。</p> <p>10年後20年後30年後までの児童数の予測に照らせば、乱暴なやり方をすれば統合しかないだろう。統合すれば、いろいろ学級数の問題だとかみんなクリアされるし、文科省の基準に収まる。ただ、そう単純な話ではないという部分で、我々というか、教育委員会も苦労していると思うが、そういう意味ではまずこちらの「統合ありき」という話の展開に持って行くのではなくて、ニュートラルな部分で個々に論じていかないとならないと思う。</p> <p>そういう意味ではこの視点のところは、少しちょ</p>

	っとストレートで踏み込みすぎかなというような感じがしないでもない。
委員長	やはり副委員長の方も同じような考えを持ったようなので、受け取り手は「これじゃあ統廃合ありき」というような感じに受け取られてしまうので、「いい先生を確保するにはこういう方法を使って県教委から持って来る」というような、そういう書きぶりにした方がいいのかもしれない。
教育長	「いい先生を採るために」という書き方は、非常に誤解があると困るので、例えばの話だが「将来を見据えた新しい教育スタイルを行うためには、例えば小中一貫校等の仕組みも」そのくらいで。「いい先生を採るにはこれ」ということになると、本当に誤解がいろいろ生じてしまう。
委員長	教育長が他市町村に対してファイティングポーズを取っているような形になってしまう。
教育長	ちょっと厳しい表現かなと正直思った。
委員長	気持ち的にはどこの教育長もいい先生を採りたいのは、私も県に居たから重々承知している。 でも、新しいスタイルというような形で打ち出すと、やはりそういうのを一つの根拠にして、それに沿った資格のある先生を配置していくという。
教育長	自然にそうなるものなので、あえて言葉として出るとちょっと厳しくなるかと。
委員長	新しい教育スタイルだからという感じで。
教育長	新しい教育スタイルを行えるような、そのような意義の学校を作ることがやはり大切かと思う。
委員長	ここのところは検討という事で。
教育長	やはりこれからの教育としては、ICT端末を使った新しい教育スタイルというのがどんどん出てくると思う。それを十分活用するためには、やはり小学校から中学校まで一貫の教育目標を持っている、そういうような学校や教育活動が望ましい、というような言い方でもし変えられるのなら変えた

	い。
委員長	その辺のところは、教育長の思いも入れながら、事務局にお願いしたい。
委員長	今コンピューターの話が出たが、「G I G Aスクール構想」という事で、小学校一人に一台タブレットが配られてやっているのか。
教育長	やっている。
委員長	1年生は字が読めないのに、本当にできると思うが、できてしまう。
委員	今の子どもたちは、幼稚園児でもできてしまう。子どもは怖いものがないから、どんどんタブレットやスマホでもいじくれる。大人は先を読んでいじくるから、「ここまで行っちゃだめだ」と思うが、子どもは全然違う。
副委員長	そういうIT技術を利用できるという事は、将来その本人の生産性にも直結してくる。例えば今百科事典に載っているような事項なんていうのは、どんなに記憶しても社会にはあまり役に立たない。それよりも、こういう操作の早い人の方が生産性がよほど高いわけである。どんなに知識があっても、それを思い出すまでに時間がかかっているよりも、知らなくてもササッとすぐ検索できる人の方が、社会ではものすごく生産性が高い人として評価される。
委員	百科事典がスマホの中に全部入っているのと同じ。
委員長	そういう現状を子供なり孫なりがいる家庭のお母さんお父さん、おじいちゃんおばあちゃんは結構知られているが、現状をできるだけ多くの人に知ってもらいたい。「ああ、こうなったのか」というのを。話はそれてしまうが、広報とかでこういうのは載せているのか。
事務局	G I G Aスクールについてはまだ広報していない。
教育長	学校だより等では広報している。町の広報では、

	<p>予算的な面についてはお知らせしている。4月からいろいろ始まったところなので。</p>
副委員長	<p>5Gがどうなるかは別としても、ネットワーク関係で地域間の格差というのは、相当縮まっている。美里のような田舎でもブロードバンド化されている。そういう面では昔と違って相当地域間の格差は縮まっているはず。</p>
委員	<p>うまく言えないが、「効果的な教育実践を行う視点」のくくりは、もしも急ぐのであれば、子どもたちにとって何がいいのかである。</p> <p>だからこれは費用云々ではなくて、3校の子どもたちの歩幅が合うか合わないか、中学に行ってから差が出るか出ないか。そんなことを言うと大きな学校と比べれば当然差は出るだろうが、美里においては7人くらいになろうという大沢小学校と、30人くらいのところと、中学校に行った時に引けを取ってしまうとかありそうということもあるし、今先生方が努力されている一人一台の端末なども当然足並みが揃っているのでしょうけど、その辺で水準というか差が出ないかどうか、この辺を盛り込めたら、子どもたちの視点というような気がする。「効果的な」というのであれば。</p>
委員長	<p>事務局、何かいい資料を考えられるか。</p>
教育長	<p>例えば「効果的・効率的な教育実践」を行わせてという事になれば、先程校長から話があったように、体育の授業で人数が心配なくサッカーもバスケットもできる。人数がある程度増えることによって効果的・効率的な教育活動もできるし、学校施設の方も一極集中である程度お金がかけられるところもある。</p> <p>今、学習支援員を3校に分散させているが、これがもし1校だったら全部1校に集まった時の学習支援員さんの数というのは結構人数が増えるので、子供にとっても効果的な支援ができると思うが、ただそこまで書いてしまうと「統合ありきだ」という</p>

表現になってしまうので、難しいところではある。

昨日も見えてきたが、7人くらいの教室で例えばGIGAスクールの端末の充電器が置いてあって、中はスカスカの状態だけれども、ある程度の人数のクラスの充電器は目一杯置いてある。そういうところを考えると、効率的とか効果的な教育活動をするには、ある程度の人数がいないとできないのではないかと、改めて昨日認識したところである。ただ、書き方は非常に難しい。

やはりこれからの教育をもし問うのなら、義務教育学校は正直言って少々ハードルが高い。小中学校の教員免許状を全部持っている方を教員として全部集めるといってハードルが高いので、新しい教育スタイルとしては、小中一貫校。小学校6年間・中学校3年間、計9年間を一つの教育目標に沿って1年生からずっと行くというような新しい教育スタイルの学校になったら。

ちょっと難しいところだが、この答申にどこまで踏み込めるか。

委員長

委員がおっしゃった心配の一つに、「大規模校から上がってきた中学1年生と小規模校から上がってきた子で差はないのか」という部分かと私は思ったが、色々ところのデータを見ると、大きな小学校から上がってきた子どもは平均を取ると平均になってしまう。「平均を取ると平均になる」意味がおかしいが、大人数がいるから薄まってしまうみたいな部分がある。でも、小規模校の場合は入ってくる学年によって波がある。学力的にうんと良い学年、そうでもない学年、こういうのがある。だから大沢の場合は分からないが、うんと良い学年があったり、そうでもない学年があったりという波があるのではなかろうかなと、私の予想である。

私が見てきたところでは、データを取ると大きい3学級なり4学級なりの規模の入ってきた中学1年生は、良い子もいるしそうでない子もいるが、平均を取ると県平均とかと同じになる。でも、小さい

	学校はうんと良かったり、そうでもなかったり、これが激しく差がある。
副委員長	それは隔年ということではなくて、例えば2年連続でうんと良かったのが、次の1年だけうんと悪くなったとか、そういう凸凹か。1年おきではなくて。
委員長	その学年の子どもの実態であり、県平均との差もなかなか縮まらない。
委員	<p>当たっていると思う。そんな気がする。</p> <p>人数が多いからといって、運動面も学習面もいいかといったらたぶん違うと思う。大沢小は少ないが、少ないなりに学年で競い合える子がいれば、たぶん成績が上がり、競い合える子がいなければ、それなりになってしまうのかなと。今娘が6年生だが、6年間見ていてそう思う。</p> <p>今6年生が12人しかいないのだが、うちの娘は、勉強面では頭がいい子がいるのでそこで競い合える子がいるけれど、運動面だと男の子と競っている感じで、ライバルがないので結局男の子と競うしかない。運動会でも大沢を見に来ると、男女が一緒にと競走をするので、6年間ずっと男の子と100m走をしなくてはいけなくなった場合、いつまで経っても勝てない。</p> <p>そういうのを見ていると、「統合してほしいな」とか「もっと人数がいたらいいのにな」と思う。やはり競い合えるか、競い合える子がいるかによって、そのレベルが変わるのかなと。</p> <p>多いからいいわけではなくて、統合するかしないか分からないが、環境で競い合える相手さえいればまた違うのかなと。統合するかしないかは言えないが、もしも統合しない、このまま各学校がその学校ごとでやりたいのであれば、競い合える環境を作ってあげれば違うのではないかなと思う。</p> <p>実際は一緒になった方が身近に競い合えるのでいいと思うが、もしも統合しないのであれば、子供達にいい競い合える環境を作ってあげられればいい</p>

	ということも書くといいのかなど。
委員長	現状でもそういう競い合える環境を、切磋琢磨しあえる環境を作っていかなければならないわけだから、そういう環境をさらに発展した形という事で書けば。先ほど委員が言ってくれた「子ども視点」の中で「切磋琢磨の場」という事で書いていけば問題ないか。
教育長	皆さんは本当に10年20年後の子どもたちの事を考えて、どうにしたらいいかを中心に考えればいいことである。 委員からは自分の意見を率直に言ってもらって、答申に盛り込むべきだと思う。
委員	言ってもいいのか分からないが、やはり苦勞している。12人の中で競い合わせるのに「負けたくない精神」を育てるのは、とても大変。競い合える場が、競い合える子がいないのだったら、競い合える場に行けばいいと思うのだが、実際に行ける子が何人いるのかとなると、結局行けない。 なので、今後10年20年後の子育てする親が同じように苦勞するのであれば、一緒になった方がいいのかなとは思う。本当に大変。 運動面も学習面も、実際ここまで危機的な感じで思っているのは、大沢の親が一番思っている。他の学校に比べれば、本当に大変。みんながみんなここまでやっているかというのと、やっていない家もあると思うが、やはり将来社会に出たときに苦勞するのは娘と息子なので、その辺は「負けたくない精神」がちょっとでも育つように工夫をしたり、そういう場に行かせたりしているが、実際は大変。 大沢小の代表となっているが、個人的な意見として、私としては、統合をして一緒になった方が子どもにとってはいいと思う。私は地元ではなく熊谷から来て、全校生徒が900人を超えるマンモス校で育ったので、「負けたくない精神」が強いが、娘たちにも同じように育てたいと思っているので、だいた

苦勞している。後々の親になる人たちに苦勞をさせたくないの、できれば一緒になってほしいと思う。

実際大沢小は独自に同じように適正規模の会議をしている。大沢小だけなので、これからの大沢小の話し合いをしているのに、統合の話をした私も失礼だったのだが、そういう話をした時に大沢地区の方は「残してほしい」という意見も実際あった。「これからの大沢を話し合っているのに、その話は」「数字を言われても」と実際言われたのだが、現親からは私とは真逆の意見を言っている方も実際にいて、「こういう少人数でやらせてるのがいい」と言う親もいるのも事実だし、私みたいに「統合して競わせたい」「ちょっとでも多くの子たちと関わらせたい」と言う親もいる。

もしも統合が決まったら関わる年代の親にも聞いたら、数人だが「統合してほしい」と。やはりこのまま毎年「今年何人？」というのが、毎回不安に思っているのが実際に、美里町が1つの小学校になれば、その不安もその話も一切しないで済むと。子どもたちが社会に出たときに、それなりに社会の波に揉まれても大丈夫なようになってほしいので、「統合すると決まったとしたら、分かりましたと言える」とその方たちは言っていた。

ただ、全員にアンケートを取ったわけではないので、本当にごく一部の方にしか聞いていないので、大沢の方たちがどう思っているのかは分からないが、一応意見として、こういう意見が大沢としてはあった。

委員長	(5)の書きぶりについては、もう一回事務局で検討していただければと思う。 (6)その他について、事務局から説明をお願いしたい。
事務局	「その他」として、美里町の近隣の現況という事で書いた。 全国的な人口減少や少子高齢化等の傾向に対し

	<p>て、美里町はこういった検討委員会で話をしているが、その他にも第1回の資料で出したが、数多くの市町村がこういった小中学校の統廃合や適正配置といった課題に向き合っている現状がある。</p> <p>例えば実例として挙げた、長野県の佐久穂町などのように統廃合を終えた市町村もある。また並行して神川町はもう昨年度で終わっていると思うが、同じように検討中の市町村というのものもある。もちろんそういった中で住民の総意の基に満足いく学校を作ったところもあれば、こういった話合いの中でこじれてしまって大きなしこりを残したという市町村も聞いている。</p> <p>美里町のこの委員会においては、そういったことを踏まえ、多くの子供達や保護者、それから住民の方々、そういったところでなるべく賛同が得られるような、そういった答申を考えていきたいという姿勢として書いた。</p>
委員長	<p>(6)の視点というのは、最後のところ「多くの子どもたち、保護者、住民から賛同が得られるような答申を考えなければならない」というこの部分なのかという事で、大きな問題はないかなと思うが、よろしいか。</p> <p>1時間半経ってしまったので、休憩を取りたいと思う。</p> <p>休憩の後、次の回に答申をまとめるための骨格をまとめていきたいと思うので、よろしく願いしたい。</p>
～休憩 15:35～15:45～	
委員長	<p>休憩後、再開をしたいと思う。</p> <p>前半の最後で話したように、現状それから検討の視点を踏まえて、これから答申の骨格を作っていくと思う。</p> <p>一番の基本だが、子どもたちの数。この一番の根底からすると、将来的には1校に統廃合していくというのが、やむを得ないのではないかという考えが浮かぶ。まず、将来的には美里町の3つの小学校を</p>

	<p>1つにしていくというのは、やむを得ないのではないだろうかという事だが。</p>
委員	<p>現状では子どもが増えるという事は見込みがないのであろうから、しょうがないと思う。もう少し美里町も人口も増えて子どもの数が増えてくれればよいと思うが。</p>
委員長	<p>それでは、この事を一つの基準に考えていってよろしいか。</p> <p>「児童数の予想から考えると将来は1校が望ましい」。1校にするというのではなくて、とりあえずは「望ましい」という部分からスタートしないといけないのでは。では「1校」ってどこなのだ、どこからすればいいのだろうかという事だが、考えられる範囲は、児童数の大沢小学校が一つの基準だが、複式学級になる令和16年が一つ考えられる。</p> <p>これから、校舎の古さで言うとも現在松久の校舎が49年だったか。</p>
委員長	<p>70年が寿命とすると、あと21年だから、今年に21を足すと、24。少なくとも令和16年から24年くらいまでの間には、美里町として大きな方向転換を迫られるのは事実だと。児童数は減り複式学級、校舎は古くなる。この間になんとか考えないと、実際にはこの前の段階で何かを考えないと、もうここはレッドゾーンだと。</p> <p>校舎の方は設計をして、予算を取って建てるとなると、最低でも4年くらいかかる。もし校舎を建て直しするとなると、令和21年度辺りでは校舎の建て替えの動きを出さないと厳しい。</p> <p>児童数の方は何とかかなと思うが、少なくともこの近辺は表にしてみると、キーになる年度が令和16年、令和21年度くらいだというふうに、数字的には見える。</p> <p>当然先ほどの大沢小学校の委員の話を考えて、できるだけ早い対応を取れるといいのかなという事で考えると、令和16年辺りのところで1校にし</p>

	<p>てあげられるといいのかなと。</p> <p>だから町当局とすると、結論は令和12年ぐらいにはどうするか出してもらわないといけないのではないかという感じはする。この年度を逆算すると。</p> <p>次に配置。学校の位置だが、スクールバスの地図が載っていたと思うので、その地図をご覧くださいと思う。</p>
事務局	資料10になる。
委員長	<p>これは半径2.12km、通学路のように行ったり来たり回り道をするのだいたい3kmぐらいか。通学路で3kmくらいが円内に入ってくる。ここから外に出るものについては、当然スクールバスという事になってくるわけである。</p> <p>場所的には美里の中心部、美里中の近所という事か。美里町の中心は地図で見ると、美里中の隣ぐらいの位置になってしまいそうな感じがする。そうすると、この位置を考えると今の3校は使えないという事なのである。どこか例えば東児玉の校舎を使おうか、松久の校舎を使おうか、大沢の校舎を使おうかという、町の中心からどれも外れているから使えない。新設という事になる。</p> <p>こんなふうにしていくと、答申の骨格が見えてくる。少し論理に飛躍があり過ぎる部分もあるかもしれないが、単純に言うところこんな感じかと。令和の年数で追っていった時に、児童数は16年ぐらいから複式学級、校舎の更新は24年がギリギリ、とすると、どちらかの前を基準に取らなくてはいけないと思うのだが、1校をどこに置くかと考えると、町の中心。東児玉も松久も大沢も中心にはない。中学は中心にあるのだが、という事はここに「新設」という言葉が出てくる。町の中心ですから、当然「スクールバス」というのも出てくる。</p> <p>これが一つの叩き台になると思うのだが、「そうじゃないだろう」という部分があったら、どんどん意見を言っただけければと思う。</p>

委員	今日配られた資料8に改修費用が載っているが、この「1年」というのは、今が1年目という事か。令和元年ではなく。
事務局	令和元年ではなく、令和3年が「1年」のところになる。令和2年度の個別計画の次からスタートという意味だったと思うので、令和3年度からである。
委員	<p>そうすると9年後あるいは7年後辺りから、すごく改修費用がかかるような感じになっている。</p> <p>もし新設するのであればその改修費用を抑えて、なるべく早くした方が、「改修したのに、あのお金はもったいない」ではないが、早めに動いた方がいいと思う。改修費用の事を考えると、もし動き出すのであれば早い方がいいかなと私は思う。</p> <p>改修をしないと危ないのであれば絶対しなくてはいけないと思うが、ちょっと我慢してというのであれば、このお金は新設費用の方に使った方がいいのではないかなと思う。</p>
委員	これは解体の時期が決まってくれば、自ずとこの書き方も変わってくるのではないか。ずっと使い続けるのを前提の改修費用になっているのではないか。
委員	どれくらい危ないのかどうなのかというのは、私達には分からないので、どういう意味でのものか。
委員	長寿命化をする場合のコストだから、「あと5年後に解体しますよ」となったら、このシミュレーションは全然変わってくると思う。
事務局	そういう考えで大丈夫だと思う。今の校舎を70年・80年もたすためには、大きなお金をかけて大規模改修を入れていかないとたないという事である。これが例えば50年・60年となると、費用の計算が変わってくると想定される。
委員	10年以内だったら、この計算はすごく少なくなるという事か。

委員	可能性が高いのではないか。
委員長	例えば令和12年から16年ぐらいに新築をするという事になれば、また別の考え方が出てくる。
事務局	<p>小規模の修繕を重ねていくという方法もあるし、そこは全く考え方が変わってくると思う。</p> <p>もし今の校舎のそのままもたせるという想定で、少し前に作った計画であるので、すぐ改修入れた方が良いのではないかという計算をしているが、今回こういう検討の場があるので、本年度はこのようにはやっていないのが現実である。</p>
委員長	資料8]コスト見通しの表で、2012年までで下の黄色の二つを足すと、約20億、21億くらいはいつてしまうのか。
事務局	3校を長寿命化で維持させるという想定ではそうなる。
委員	<p>もし新設するとしたら、ここの部分の費用はどれくらいになるのかというのを知りたい。今急には分からないと思うが。</p> <p>費用的にここ5年で毎年これくらいかかっていたという過去の資料と同じでいいという事か。</p>
事務局	この資料は、個別施設計画を立てる時に、業者に算出をさせた資料である。例えば当面直しながら使っていくという事になると、修繕費一覧の資料で微増しながら修繕費が増えていくという想定はあるが、実際どうかというと、すぐには想定するのは難しい。
委員長	<p>結局、長寿命化計画で今の3校を維持していくとなると、令和14年ぐらいになると約20億かかってしまう。20億あれば、新築の方に回すことも可能だという事か。</p> <p>新築にしても、土地代がどれくらいかかるかわからないが、新設だから土地を確保しないといけないというのもあるし、この辺のところはまた考えてという事で。</p>

	<p>新築にした方が改修したより見た目がいいし、使い勝手のいいものができると思う。当然修理というのも時期がずれてくるから、20年ぐらいは修理をしなくても済む。</p>
委員	<p>途中で退席するのだが、一つ申し上げてよいか。</p> <p>コンクリートの作り方が変わろうとしていると、昨日の夜のニュースでやっていた。今まで50年ぐらいの耐年だったものが、気泡を入れないコンクリートを今一生懸命開発しているみたいで、200年ぐらいもつらしい。</p> <p>1年・2年後では無理だろうが、うまくすればこの新しい校舎にそういうコンクリートが用いられるかもしれない。そんな感じで昨日11時ぐらいのニュースでやっていた。</p> <p>どうしても「骨格」のひとつに、「町が盛り上がる」や「教育が充実する」というような言葉というか、「美里町は教育に力を入れていて、自ずと人口も増えるよう」にそのような文面が入っていたら嬉しい。</p>
委員長	<p>美里が教育を大事にしている「日本一教育を大事にする町」というようなキャッチフレーズをつけて、教育の町をPRするという。</p>
教育長	<p>それは大丈夫である。</p>
委員	<p>今、委員からあった事は、これがどういうふうに進むか分からないが、効率的に作業を進める上で、教育委員会あるいは町当局がお金を上手に活用するという点では、本当に大きな視点だと思う。</p> <p>決して無駄なお金は使わない、上手に使って子どもたちに渡してあげるといふ、そんな感じになると思う。</p> <p>この辺のところはどうか。区長の立場で見ている、将来は1校が望ましいかなという部分、それから町の中心がいいだろうと、当然そうなれば新設だしスクールバスも使わなくてはならないだろうと。時期的には令和12年頃を目途に決めなくてはな</p>

	らないのではないかという想定だが。
教育長	ただ、予算の絡みだと、令和12年度よりももっと前に決めないと、さっき委員が言っていたように、無駄なお金と言っては変だが、改修工事がもつたいないという意見は当然出る。
委員	前中学校を新築した時に教育委員だったので、「中学校新設建築委員会」というのがあって、相当年月がかかった。 設計も入札でいろんな会社の方から出してもらって、それを新設委員会でまた検討してとっていたので、5年くらいはみないと。やろうってなってから5年くらいはかかるのではないかと思う。
委員長	私は4年にしたのだが、令和11年くらいにしないと。令和12年から1年前倒しで、この辺になるのかなと。 一番上には「将来は1校が望ましい」として、1校にするのなら「町の中心部」、中心部は「新設」だよと、4つ目としてこういう順番なのかなと。
教育長	この令和12年までの「時期」というのは、方向性が確定するというか、もしかして12年の頃には新しい学校でというのか、どういう事か。
委員長	今の感じだと、方向は令和11年頃までに決定しないと、大沢が複式学級になると想定される時期には間に合わなくなってしまふ。さっきの委員の話だと5年くらいかかるという。
副委員長	決まってから5年かかるという話だから、児童数の要は複式学級にならざるを得ないような。 このままで推移した場合、大沢小学校は複式学級を免れない。 複式学級を避けるという部分で考えれば、その5年前となると11年。
委員長	児童数の予想から考えて、大沢を複式にしないような方向が望ましいであろうと。そうすると1校にしていくなのが望ましいだろうと。1校にするのであ

	<p>れば、当然町の中心に設置するのがいいのではないかと。町の中心を今見ると、3校のうちの1校を使えるわけでもないで、当然新設になってしまう。新設をすると、早めに準備を始めると令和11年頃には方向を決めて、町として動き出さないといけないと。</p> <p>町には5か年計画とかいろいろあるのか。そうすると、どういうタイミングで5か年計画を作っているのか。</p>
事務局	<p>本年度から新しい後期計画が始まっているので、現在の第5期総合振興計画は、令和7年度までの計画になる。令和8年度から新しい10年計画であり、前期が5年間の計画になるという形である。</p>
委員長	<p>そうすると、令和8年からの次の5か年計画の中にはそういったものが町として出せるかどうかというのは、町当局の問題になる。</p> <p>そう出せるように教育委員会として動きを取ってもらえばいいかという感じになる。</p> <p>とりあえずこんな答申でよいか。これを文面にしてもらおう。</p> <p>何度も繰り返しになるが、町全体、特に複式学級を作らない、子どもたちが切磋琢磨できる環境を作るという、そういう事を焦点に将来は1校が望ましい。1校にするならば町の中心部が良いだろう。中心となると新しい学校を作っていく事が必要となる。当然、新しい学校を作るのであれば、前もって決めて予算を立てて設計をして建築工事という事になると、時期が明確になってくるということで、事務局にこの流れを書いてもらえばOKかと思うのだが。</p>
教育長	<p>令和11年くらいまでには、計画の方向性がある程度決まっていないと、11年度から公会計が動けない。という事は、方向性は令和10年に決めるのではなくて、ある程度前もって方向性を決めながら、計画を決めながらしておかないと間に合わない</p>

	という事である。
委員長	<p>おそらく土地の収用というのは、時間がかかる。地権者の了解が得られなければ、どうにもならない。学校は4haとか広く、それだけの土地が一筆で確保できるかどうかというのが、非常に大きな問題となるので、方向としてはかなり早い時期から、第2期の5か年計画の辺りを出さないと。予算の関係で国とか県とかに交渉して補助金をもらってくるなどの事も考えなければならない。</p>
事務局	<p>現在の後期計画には、こういう検討を行うという事は盛り込んであるところである。それを発展させた上で、令和8年度からは第6次の進行計画になると思うが、その前期計画にはある程度の方向性を書けるようにしておかないと、予算が動かせないと思うので、その段階からはもう動いていく必要があると思う。</p> <p>令和7年度に令和8年度以降の計画を町全体で策定していく事になるので、そこには教育委員会として意見を出さなければいけないと思う。</p>
委員長	<p>だいたい理解の方は出来ただろうか。今日も板書に書いた流れで、文章にしてもらおうという事でいいのかと思う。そして、無駄のない子どもたちに有効な方法というのも、また考えなくてはならないのかなと思う。</p> <p>では、併せて答申の理由、それも上手に作文してもらえるか。次回にそれを皆さんにご提示していただいて、揉んでもらう。</p> <p>そこでまとめれば、答申の形にすると。教育長、うまくこの次の回で答申の方向を決めて、皆さんの了解が得られれば、清書して出すのは別日でいいか。新たに皆さんに集まってもらわなくても。</p>
教育長	<p>小川町などは、答申の提出をするというのを写真に撮って広報か何かに載せていたような気がする。ただ、全員ではなくて、委員長・副委員長ぐらいの写真だったと思う。都合がつくときに答申を出して</p>

		いただけるとありがたい。
	委員長	<p>そうすれば、あと1回の会議でなんとか済むかなと。もう1回みんなで作出来上がったものを共有して、となるとあと2回になってしまうが、できるだけ無駄は省きたい。こうして集まっているのも皆さんの費用弁償が出ているわけなので、無駄な会議はしないようにして、効率化を図りたいと思う。</p> <p>では、できればうまく事務局にまとめていただき、あと1回で。後ほど私なり副委員長で、教育委員会の方に答申を出す、という流れでよろしいか。</p> <p>最後はバタバタして申し訳ない。議事については答申の検討という事で、答申を作る骨格を事務局の方に提示できたので、これで終わりにしたいと思う。</p> <p>(2)その他について、事務局にお願いしたい。</p>
	事務局	<p>まず次回会議の日程確認だが、先日第7回会議の時に第9回まで日程調整させていただき、8月6日金曜日という設定をさせていただいたので、改めて報告をさせていただく。会場は役場の201会議室を確保できているが、正確には通知で案内する。</p> <p>また会議録の署名については、名簿順に山崎校長先生と志村校長先生に、後ほど完成したらお願いに上がるので、よろしくお願いしたい。</p>
	委員長	私の方で受け持つべき議事は終了したので、役目の方はここで終わらせていただく。
5 連絡事項	事務局	
6 閉会		

上記は会議のてん末を記したもので内容に相違ないことを証するため署名する。

令和3年 月 日

委 員 _____

令和3年 月 日

委 員 _____